

私のおすすめ

新しい音楽への地平をひらく

演奏・創作学科作曲専修 3年 小畑有史

図書

魅力的なタイトルを冠したこの本。「実験音楽」と「民族音楽」という一見、相反した意味のようなこれらの言葉がイコールで結ばれており、「どういう意味だろう…」と好奇心を掻き立てます。

この本に登場する、20世紀のアメリカ(ラテン・アメリカを含む、広義でのアメリカを指す)を代表する9人の前衛作曲家たち…カール・ラグラス、パーシー・グレインジャー、ヘンリー・カウエル、シルベストレ・レブエルタス、ルース・クロフォード・シーガー、ハリー・パーチ、ポール・ボウルズ、ジョン・ケージ、ルー・ハリソン。(うわ、知らない作曲家ばかりだなあ)と思った、そんなあなたでも十分に楽しめる一冊と断言します!

印象的なタイトルの意味については、本書の「まえがき」にて(なるほど!)と思わずにいられない裏付けと、端的さをもって書かれています。著者の見解は、9人の作曲家の軌跡をたどることで、より深まっていきます。ヨーロッパの芸術音楽とスタイルを異とし、作曲家たちがいかに独自の表現を獲得していったかを焦点として、彼らの、表現への並々ならぬ探求精神を明快な筆致により伝えています。(すでに本書のタイトルの意味をうっすらお気づきになっ

た人もいるかもしれませんが、詳細は本で!)

けして一筋縄でない、彼らの軌跡はとても魅力的です。一流の前衛作曲家から民謡採譜者/編曲家へと転身したルース・クロフォード・シーガー。12年間の放浪生活の後、独自の音階と楽器を用いた作品を発表し、実験音楽の開祖となったハリー・パーチ。劇伴音楽の作曲家から小説家として活動の幅を広げるとともに、先駆的なモロッコ音楽研究者でもあったポール・ボウルズetc…。そんな彼らの音楽から、私たちが普段親しんでいる「クラシック音楽」とも、いわゆる「現代音楽」ともまた異なる、新鮮な感覚を覚える人も多いのではないのでしょうか。(本書巻末のお勧めCDガイドが嬉しい!)

この本があなたにとって、あなた自身の新しい音楽への地平をひらくキッカケとなることを願ってやみません…!

『アメリカ実験音楽は民族音楽だった
9人の魂の冒険者たち』
柿沼敏江 フィルムアート社 2005
請求番号●J104-239



おばた ゆうと ● 先日、人生初の宝塚歌劇へ。公演中、予期せずキュン死してしまい、終演後には公演プログラムを即購入するほど「ヅカファン」に

身近にある良い曲

演奏学科声楽専修 3年 安藤友里恵

CD

中学校の時に習うヴィヴァルディ作曲の「四季」は、皆さんも聴きなじみのある曲だと思う。私にとって、「四季」～春～は中高時代、掃除の時間にかかっていた曲だったので、この曲には思い入れがある。

このCDは、そのヴィヴァルディの「四季」が収録されたCDである。しかし他のCDとはひと味違う。実は、このCDに収録されている「四季」は古楽器で演奏されている。この演奏をしているグループは、エウローパ・ガランテという名前のバロックオーケストラだ。このグループは、バロック・ヴァイオリン奏者であり指揮者であるファビオ・ビオンディによって設立され、ヴィヴァルディなどのバロック音楽を専門に演奏活動をしているオーケストラである。最近のヴィヴァルディの演奏のイメージを覆すような解釈の演奏をし、一躍有名となった団体である。

このCDを聴いたのは、去年の夏、本学のイタリア語の先生の授業を受けている時であった。バロック音楽の勉強をしている時に先生が流してくださったのだが、その時自分の中で衝撃が走った。そして同時に鳥肌が立つほど感動した。CD音源でここまで感動したことがなく、大変驚き、授業が終わった後、先生のところに飛んで

いき、このCDを貸して頂いた。

その時改めて「四季」を全て聴き、ヴィヴァルディの感じた四季を垣間見た気がした。また、古楽器のモダン楽器にはない美しい音色や調性感、その楽器の持つ音の迫力を感じた。バロック時代にはこんな音色で音楽が奏でられていたのかと思うと、バロック時代の人が羨ましい。このCDを聴いてこの中で～冬～が特に好きになった。やはりこの曲を聴くとどうしても車のCMが頭をよぎるが…。第1楽章では、冬の厳しい寒さを音で厳密に再現しており、冬の寒さに世界が軋むような音や凍つくような風やそれを受けて寒さに耐える人の描写が、第2楽章では、目の前に暖炉があり、友人や家族とあたたまりながら、楽しく談笑をしている風景が頭の中に浮かび、自分の中で共感の嵐が巻き起こり、また、たまらなく好きだと感じた。

今まで身近にありすぎて私達にはその素晴らしさにまだ気づけていない音楽が、まだまだ他にはあるかもしれない。

Le quattro stagioni ; Concerto per violino
RV 171 ; Concerto per archi RV 163 / Vivaldi
Fabio Biondi, violin ; L'Europa Galante.
(Opus 111) 1991
請求記号●XD23900



あんどう ゆりえ ● 雨で下がったテンションを上げるにはやっぱり音楽を聴くことです。最近音楽は人を元気にする力があると改めて感じます。